

森のかぞくたち



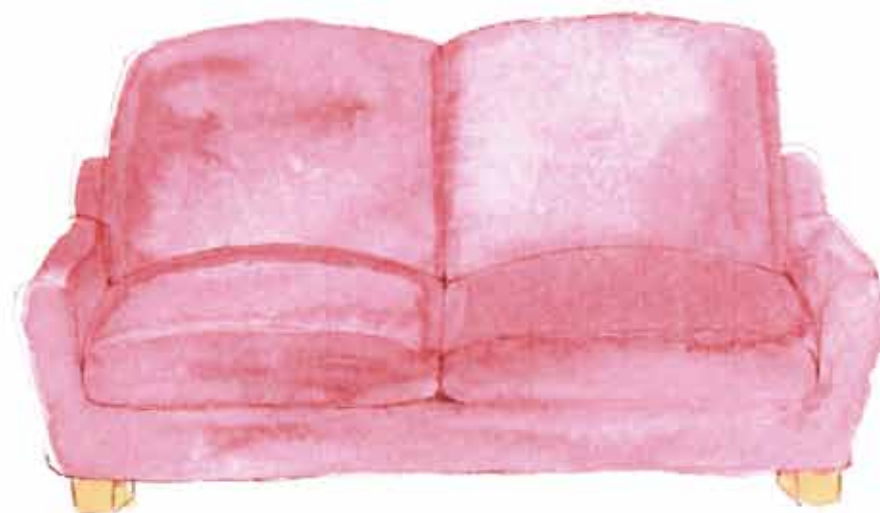
さく・え すがわら はるか



僕は、るか。

僕のお家は大きな窓がついていて、森がよく見える高い丘の上にある。

僕の家窓から見える景色はすごくキレイで、パパとママとよく眺めるんだ。



ある日のこと、パパが僕とママ家族三人で座れるソファをプレゼントしてくれた。
三人でソファに座ると、何だかとっても温かい気持ちになって、
僕はそのソファをすぐに好きになった。



三人でソファに座ってココアを飲んでいると、

窓から森の動物さん達が木の陰から僕たちを見ているのに気がついた。



僕はパパに言った。

パパ、森の動物さん達にも、家族でこのソファに座らせてあげたい。

そして、この窓から見える素敵な森を見せてあげたいんだ。

だって、座っているだけでこんなにも温かい気持ちになるんだから。

するとパパとママはにっこり笑って、頷いてくれた。



次の日の朝。

僕はパパと一緒に家の前に看板を立てた。看板には、

「うちのソファにかぞくみんなですわってください パンもどうぞ」って書いてある。

そして、ママと沢山のおいしいパンを焼いた。ママのパンはとってもおいしいんだ。



パンをお皿に山盛りに乗せて、ソファの近くに置いた。

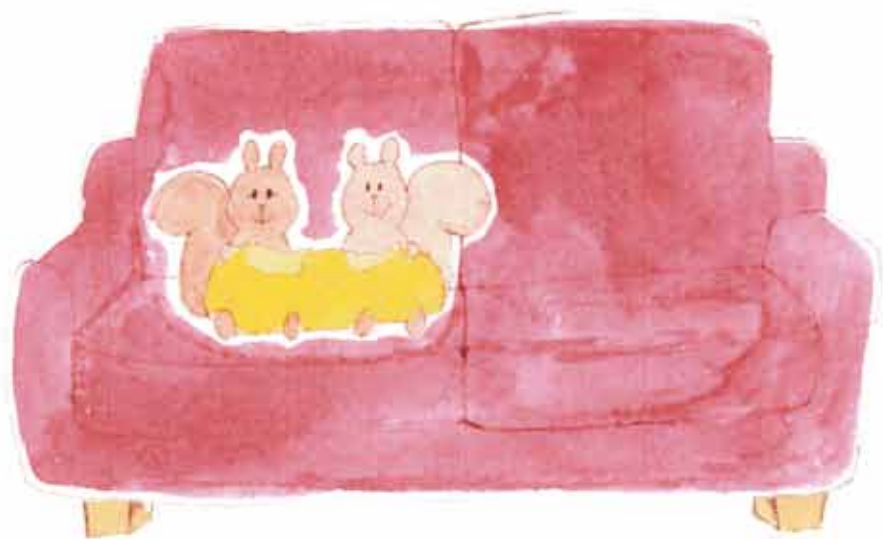
そして僕たち三人は街に買い物に出かけた。

沢山の動物さん達があソファに座ってくれるといいなあ。



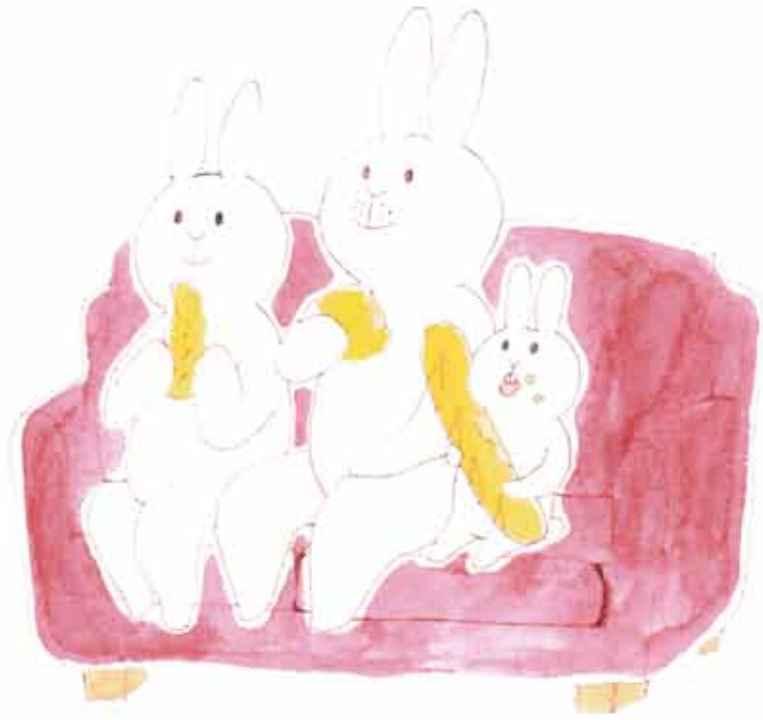
しばらくして、るかくんのお家の看板の前に森の動物たちが集まってきました。

そして看板の文字を読んで、さっそく自分の家族を呼びに森の中へと戻っていったのです。



最初にやってきたのは小さな体のリスさん。

リスさんは夫婦でやってきて、お礼にどんぐりを置いて帰りました。



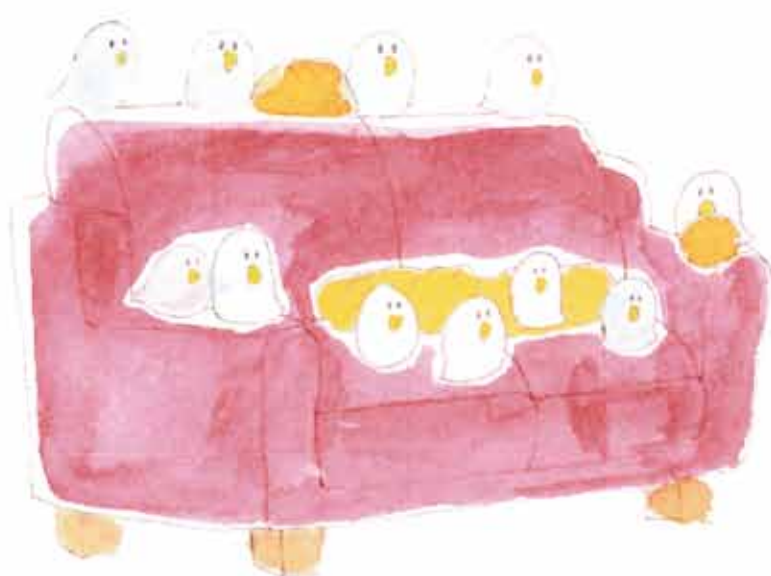
次にやってきたのは真っ白なうさぎさん。

うさぎさんは三人家族でやってきて、お礼ににんじんを置いて帰りました。



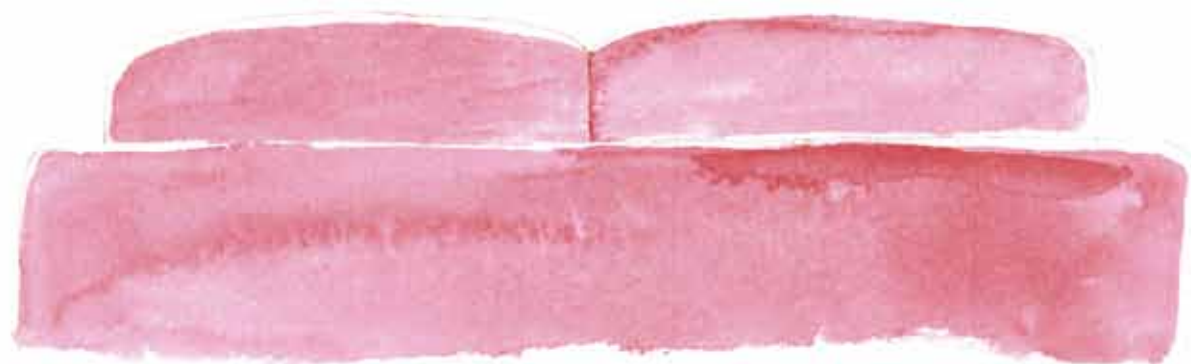
次にやってきたのは大きな体のくまさん。

くまさんは四人家族でやってきて、お礼にハチミツを置いて帰りました。



次にやってきたのは歌の上手な小鳥さん。

小鳥さんは、親戚みんなでやってきて、お礼に木苺を置いて帰りました。



次から次へと森の動物達はやってきて、素敵なソファに座って、
おいしいパンを食べながら、自分たちが住んでいる森を
大切な家族と一緒に眺めたのでした。
そして、ふしぎと温かい気持ちになって、
家族と一緒に自分たちの森へと帰って行きました。



夜になり、町から帰ってきたるかくん達は家に入ってびっくり。

お皿の上の山盛りのパンはすっかり無くなって、代わりに木の実や
フルーツなど沢山の食べ物がお皿に乗っていたのです。

きっと沢山の森の動物さん達が来てくれたんだ。

るかくんはとても嬉しい気持ちになりました。



三人でソファに座り、月を眺めているとき、るかくんは気づきました。

この窓からの景色も、このソファも、

こんなにも温かい気持ちになれるのは、きっと家族がいるからなんだ。

それは森に住む動物さん達も同じで、

家族と一緒に過ごせる場所だからこそ、好きになるんだ。

だから僕はこの窓の景色も、このソファも大好きなんだね。

NOYES
SOFA 100%

2016 年 2 月 27 日発行

著者 すがわら はるか

発行者 株式会社 NOYES

第 4 回 NOYES 絵本コンクール 大賞作品